

新年の夜明けに咆哮する

ダイヤモンド電機グループの耀く仲間たちへ

代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO

小野 有理

私がダイヤモンド電機の社長に就任後、有難くも二度目の正月を迎えることと相成りました。

昨年を省みれば、一昨年にも増して国内外土日深夜早朝益暮れ正月間わず東奔西走する激動といつてよい過ぎにし此の一年間、蘇生を果たし再生の目処付けをした上で、耀く仲間達と共に売上高1,000億円並びに点火コイルシェア世界一に向かうべく一所懸命に経営計画書を実践し創業80周年を駆け抜けられたこと、大慶の至りです。

さて、まずは毎回賞与支給の際に封入していた社長メッセージについて、此度は常にも増して飛び廻っていた故とは言え叶わなかったこと、お詫び申し上げます。

既知の通り昨冬は2ヶ月分支給、これにて年間通じて3.5ヶ月分支給に迄回復させました。評定方法は言うまでも無くチームワークを重視、DSA Pメンバーについても前回同様社長評価として0.1ポイントを加算。そして今年は、昨年のように「同等以上」とは云わぬ、再生の全きを得る為にも必ずや其之上を支給したいと想い定めています。

迎えた新しい一年、耀く仲間達の、不断の弛まぬ奮闘に加えて年始からのお客様ラグビー応援等も含め、私達皆で愚直に積み上げてきたお客様への誠が、今一度お客様からの信頼を確かに賜る大いなる原動力と為っていること、お客様や銀行様の真向かいに先頭で立つ指揮官、総責任者として、総身で実感しています。

既報の通り、1月1日の人事に於いては「お客様第一」及び「人と技術に再投資する」意志を更に明らかに致しました。本号が皆の手に届く頃、耀く仲間達が培ってきた技術開発の成果が間違い無くお客様や市場、メディアの耳目を集めていることでしょう。また、御仕入先様一社でも無かりせばものづくりは叶わぬ、其之想いの顕れとして1月末にはオールダイヤモンドズ賀詞交歓会を実施しました。水底に朽ちかけていたダイヤモンドは、もはや着々と其之耀きを確かな未来へと放ち始めています。

耀く仲間達よ、新たな一年も新たな挑み、理念の理解を経営計画書の実践に依って身に沁みる迄何処迄も推進し、持ち得る能力の全てをやる氣を以て最大限発揮し、愛する家族及び愛する仲間の為お客様を愛し其之仕事を愛す、犬馬の勞厭わずものづくり復興の狼煙を、共に、上げよう!!!